

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	美術・デザイン
科目基礎情報					
科目番号	0006		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教養		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	美術1 (光村図書)				
担当教員	上月 佳代				
到達目標					
1. 観察力、主題の表現、方法を工夫することができる。 2. 発想、構想、着想の表現ができる。 3. 材料、用具、技法の理解ができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)
到達目標1	観察力、主題の表現、方法を工夫し、独自の世界観を作り出すことができる。		観察力、主題の表現、方法をよく工夫することができる。		観察力、主題の表現、方法を工夫することができる。
到達目標2	発想、構想、着想の表現ができ、独自の世界観を作り出すことができる。		発想、構想、着想の表現がよくできる。		発想、構想、着想の表現ができる。
到達目標3	材料、用具、技法の理解ができ、的確に扱うことができる。		材料、用具、技法の理解がよくできる。		材料、用具、技法の理解ができる。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	美術・デザインの専門分野で、創造活動を通して、人間・社会・自然で美的体験を豊かにし、美意識を深め、感性やアイデアを表現する。また、情報社会の中で、生活や文化・環境を思考しながら、工学デザインへの一歩として理解し、個性ある能力を高める。				
授業の進め方・方法	【授業時間60時間】				
注意点	美術は自己をしっかりと見つめ、自分を表現する。身近な生活の中造形に興味を持ち、楽しむ。与えられた課題は最後まで取り組み、根気や忍耐力を発揮すること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1 美術・デザインの概念	美術・デザインの意識を理解して美術に取り組む心構えができる。	
		2週	2 色彩 (色相環・三属性)	色彩 (色相環・三属性) を理解することができる。	
		3週	2 色彩 (色相環・三属性)	色彩 (色相環・三属性) を理解することができる。	
		4週	2 色彩 (色相環・三属性)	色彩 (色相環・三属性) を理解することができる。	
		5週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		6週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		7週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		8週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
	2ndQ	9週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		10週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		11週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		12週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		13週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		14週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		15週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		16週	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
後期	3rdQ	1週	4 工業デザイン (立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	
		2週	4 工業デザイン (立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	
		3週	4 工業デザイン (立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	
		4週	4 工業デザイン (立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	
		5週	4 工業デザイン (立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	

4thQ	6週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
	7週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
	8週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
	9週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
	10週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
	11週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
	12週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
	13週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
	14週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
	15週	7 美術・デザインのまとめ	美術・デザインのまとめとして、絵画などを鑑賞して作者の意図が理解できる。
16週	7 美術・デザインのまとめ	美術・デザインのまとめとして、絵画などを鑑賞して作者の意図が理解できる。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	0	30	100
基礎的能力	0	0	70	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0